



愛知淑徳大学 福祉貢献学部 学術講演会



OMEP 日本委員会共催

幼児期におけるESDの新たな10年間

～OMEP ERS-SDEC 評定尺度の紹介を含めて～

このたび、OMEP 日本委員会との共催により、名古屋国際会議場で開催されるESDに関するユネスコ世界会議（11月10日～12日）において、幼児教育・保育部門のワークショップ議長を務められるJohn Siraj-Blatchford 博士をお招きして、講演会を開催することになりました。

博士は、OMEP 世界委員会やユネスコのESDプロジェクトで活躍する、幼児期における持続可能な発展のための教育の専門家です。幼児期のESDの基本的な考え方やその具体化について広い視野からお話をいただきます。

保育・幼児教育の関係者の皆様には、ご多忙のことと存じますが、是非ともご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

開催日時：2014年11月13日（木）15:30～17:30 （15:10 開場）

場 所：愛知淑徳大学星が丘キャンパス講堂

講演テーマ：幼児期におけるESDの新たな10年間 ～OMEP ERS-SDEC 評定尺度の紹介を含めて～

講 師：John Siraj-Blatchford (Phd) (Swansea 大学名誉教授) <逐次通訳あり>

定 員：200名（学生、OMEP 日本委員会会員、保育・幼児教育関係者、研究者 など）

ジョン・S・ブラッチフォード博士(略歴)：Professor John Siraj-Blatchford

Swansea 大学名誉教授。現在、Land of Me の Research and Development Director を務め、独立した教育コンサルタント、及び研究者として活躍している。かつて、ケンブリッジ大学教育学部で、ESRC Teaching and Learning Research Program の Associate Director として勤務していた。英国に拠点を置き、多くの国際的な研究に携わっており、OMEP ケニア委員会の創立メンバーであるとともに、台湾の ICT 研究プロジェクトの共同ディレクターを務めている。最近では、ユネスコより、持続可能な発展のため教育・ユネスコ10年間の保育・幼児教育のレビューの共同執筆者に委嘱されている。最新の著書：'Developing a Research Program for Education for Sustainable Development in Early Childhood', Springer.

※OMEPとは、Organisation Mondiale Pour l'Éducation Préscolaire (仏語)の略称で、「世界幼児教育・保育機構」と訳されている。幼児教育に携わる人々が、国境を越えて子ども達のために協力することを目的とする国際機関。加盟国は、現在、世界56か国。

申し込み・お問い合わせ

愛知淑徳大学福祉貢献学部共同研究室

FAX：0561（56）0019 また、E-mail：fkskoken@asu.aasa.ac.jp

参加者の

- ・氏名
- ・連絡先（電話、またはメール）
- ・所属
- ・住所

をお知らせください